副問い合わせ

| 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 | 7日目 |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 8日目 | 9日目 | 10日目 | 11日目 | 12日目 | 13日目 | 14日目 |
| 15日目 | 16日目 | 17日目 | 18日目 | 19日目 | 20日目 | 21日目 |

テーブルに別名をつける

別名をつける

これまでSQLでカラムに別名をつけて表示してきた。同じように、テーブルにも別名をつけることができる

カラムに別名をつける

SELECT column_name AS alias_name FROM table_name;

テーブルに別名をつける

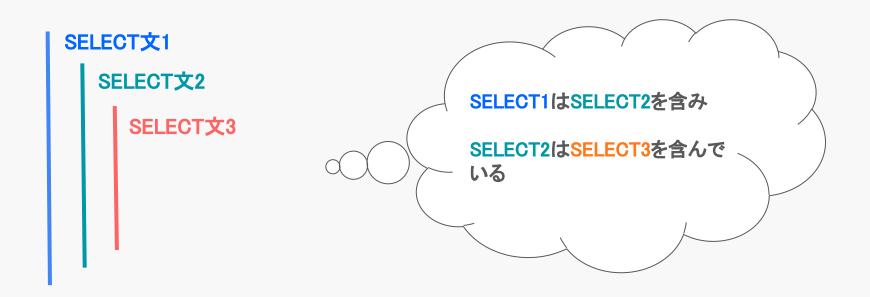
```
SELECT
st.id,
st.name
FROM
students AS st;
```

副問い合わせ

副問い合わせとは

SELECT文をFROMの中やWHEREの中などに記述して、SELECTの結果を別の処理に用いる SQL文

メインのSELECT文以外のSELECTをサブクエリ(副問い合わせと言うメインのSELECT文をメインクエリ(主問い合わせと言う



副問い合わせの構文1(INで使う)

INの後に()で囲いその中にSELECTを記述すると、SELECTの結果に含まれるレコードだけ取り出すことができる。

```
SELECT
  lastName, firstName
FROM
  employees
WHERE
  office code IN (SELECT
       office_code
     FROM
        offices
     WHERE
        country = 'USA'):
```

SELECTでofficesテーブルから、countryがUSAの人のoffice_code行だけ取り出す

employeesテーブルからoffice_code が、SELECTの結果に存在するものを取り出す

副問い合わせの構文2(INで複数のカラムを使う)

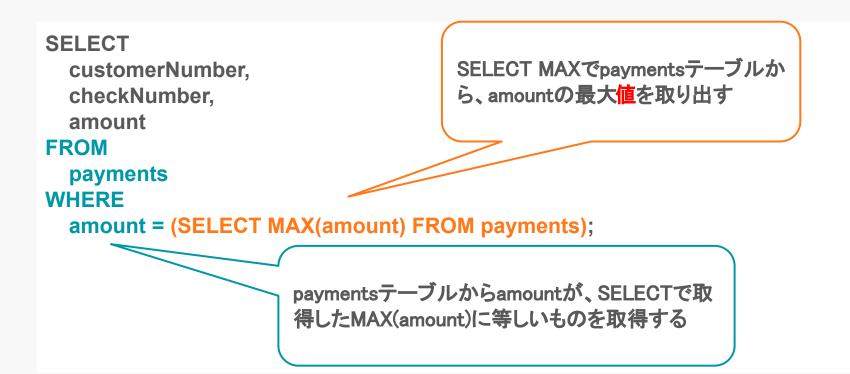
INの後に()で囲いその中にSELECTを記述して複数のカラムを取得する。

```
SELECT
  lastName, firstName
FROM
  employees
WHERE
  (office_code, office_name) IN(SELECT
        office code, office name
     FROM
        offices
     WHERE
        country = 'USA'):
```

office_codeとoffice_nameの行だけ取り出す

副問い合わせの構文3(集計関数と使う)

WHERE句の比較式に、()で囲ったSELECT文を記述し副問い合わせで集計した値と比較する



副問い合わせの構文4(FROMの取得先に用いる)

FROMの取得対象のテーブルの代わりに、()でSELECTを記述する

```
SELECT
  MAX(lineitems.items),
                                       order_detailsテーブルから取得したデータ
  MIN(lineitems.items).
                                        をFROMで利用する
  FLOOR(AVG(lineitems.items))
FROM
  (SELECT
    order number, COUNT(order number) AS items
  FROM
    order details
  GROUP BY orderNumber) AS lineitems:
                                サブクエリで取得した表には、lineitemsという別
                                名を付ける
```

副問い合わせの構文5(SELECTの行の1つに用いる)

SELECTで取得する対象の行に含める

```
SELECT
  p1.site name.
     SELECT
        MAX(file_size)
     FROM
        pages2 AS p2
     WHERE
        p2.site_id = p1.site_id
  ) AS max file size
FROM
  pages1 AS p1:
```

FROM pages2でpages2テーブルからレコードを取得する。pages1のsite_idに等しいsite_idのレコードに絞り込んでfile_sizeの最大値を求める

pages1には、別名でp1をつける

副問い合わせの構文6(CASEとともに使う)

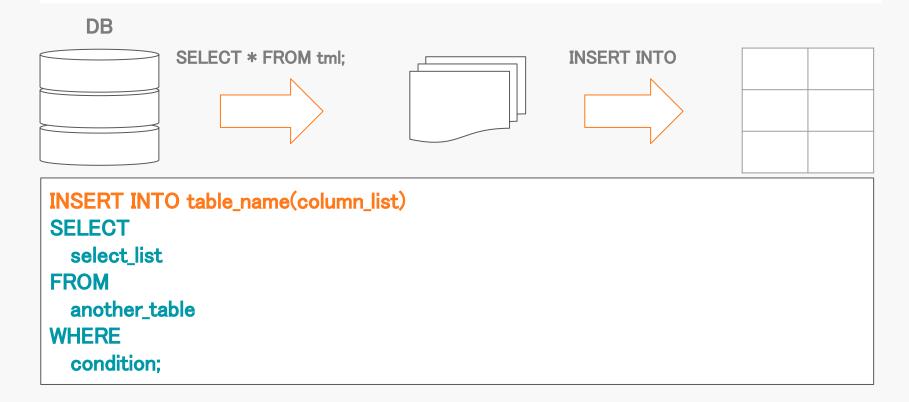
SELECTで取得する対象の行に含める

```
SELECT
  employee_id,
  last_name,
                                    departmentsテーブルから、location_idが2500の
    CASE
                                    department idの値を取得する
      WHEN department_id =(
        SELECT
          department_id
        from
          departments
        WHERE
          location_id = 2500
      ) THEN 'Canada'
      ELSE 'USA'
                                   employeesテーブルのdepartment_idが、サブクエ
    END
                                    リに等しい場合は「Canada」それ以外は「USA」と
  ) location
                                    表示する
FROM
  employees
```

INSERT INTO SELECT, CREATE TABLE SELECT

INSERT INTO SELECTとは

SELECT処理の実行結果をテーブルに挿入する



CREATE TABLE SELECTとは

別のテーブルを作成して、SELECT処理の実行結果を挿入する

